

ふたごの



町花：山百合

議会だより

9月定例会

No.137

平成28年10月20日

平成27年度会計の決算を認定	2
税金等の滞納額と貯金・借金	5
一般質問は主要政策について8議員が14問	9
追跡レポート：旧保育所の活用は	17



地域みんなで継承する文化・伝統芸能
ハヶ久保・薄木獅子舞

63億9千万円を認定



9月定例会は、9月9日から15日まで、7日間の会期で開催され、15日に閉会しました。

平成27年度各会計の決算認定や、辺地総合整備計画の変更など16議案が提出され、平成28年度一般会計補正予算を含め、原案のとおり可決しました。

一般質問には8人の議員が町民第一体育館の建設や防災無線の改修等について、14問に論戦を展開しました。

決算の意義

議会が決めた予算が適正に執行されたかを審査するとともに、行政効果を住民に代わって評価するもの。

さらに審査結果を予算の審議に役立てるためにも重要なものである。

議員必携より

決算審査意見

代表監査委員 薄井 憲一

監査委員 鈴木 木一郎

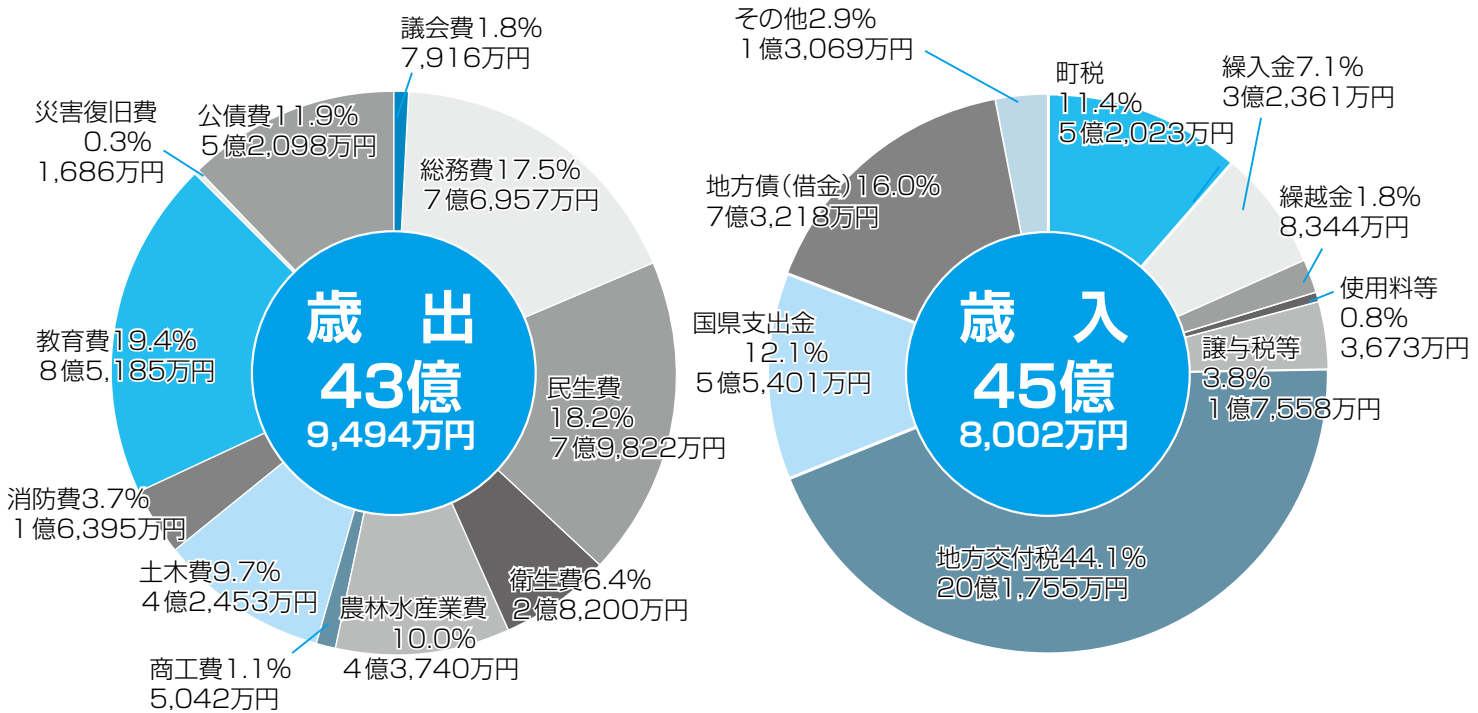
平成27年度決算は、一般会計・特別会計ともに黒字決算となり、各会計とも予算の執行及び事務処理は適正・的確なものと認められた。また、基金も1億6千7百万円が積み増しされ総額が39億3千万円余りとなった。

町税等、一般会計・特別会計の収入未済額が増加しており、長期滞納や高額滞納も増加の傾向にあるため、適正な行政運営のためにも減少に向けた対応を検討すべきである。

近年、異常気象と言われ大雨による土砂災害等が発生することも想定されるので、防災訓練や避難訓練等を実施しておくことが重要である。また、本年度は、非常食としてアルファ米、乾燥スープ、飲料水等を備蓄したが、まだ十分とは言えないので計画的に備蓄しておくことが大切である。

27年度決算総額

一般会計の歳入歳出の性質別割合は！



各会計の決算状況と採決結果

(1万円未満切り捨て)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	収入未済額 (滞納額)	採決の結果	
一般会計	45億8,002万円	43億9,494万円	3,674万円	認定 (10対1)	
特別会計	国民健康保険	8億5,990万円	7億6,598万円	5,455万円	認定 (10対1)
	簡易水道	1億4,161万円	1億2,454万円	179万円	認定 (全員賛成)
	農業集落排水事業	7,221万円	7,095万円	292万円	認定 (全員賛成)
	林業集落排水事業	2,569万円	2,505万円	19万円	認定 (全員賛成)
	介護保険	6億5,962万円	6億4,315万円	262万円	認定 (10対1)
	後期高齢者医療	5,529万円	5,524万円	1万円	認定 (全員賛成)
合計	63億9,434万円	60億7,985万円	9,882万円		
前年対比	109.9%	107.7%	101.4%		

計議 会審 年度 認定 算 27 決

議案
審議

一般会計決算認定

平成27年度の一般会計決算は歳入45億8002万円、歳出43億9494万円となりました。歳入歳出差引額は1億8508万円となり、翌年度への繰越事業の財源1億2452万円を差し引いた実質収支は、6056万円の黒字となりました。

討論

反対

岡部淳一 議員

27年度当初予算において問題点が多いとして2回否決された体育館建設関連予算がまったく同じ内容で可決されました。しかしながら現時点でも多くの問題点が指摘されており、よって本決算を認めることは町政運営とともに財政運営的な面からも問題の多いものと考えますので反対します。

賛成

緑川栄一 議員

27年度の決算については、予算時に十分な審議のうえ執行されてきたもので健全な財政運営となっています。また、町公民館改修工事をはじめとする住民のための生活環境基盤整備等を積極的に取り組んでおり評価でき賛成します。

採決

賛成 10

反対 1

可決

議案
審議

国民健康保険特別会計決算認定

歳入は前年度より1億7409万円増の8億5990万円で保険税は791万円増の1億7693万円、一般会計からの繰入金は2356万円減の6671万円となりましたが、歳出は1億4615万円増の7億6598万円となり、9392万円が余剰金となりました。保険税の滞納額は123万円増の5429万円となっています。

討論

反対

岡部淳一 議員

生活困窮家庭が増える中において保険税が8%引き上げられたことにより、負担が益々増えることは大変な状況であり、この状況における本決算に反対します。

賛成

緑川栄一 議員

国民健康保険に加入する被保険者の減少、医療費の増加など厳しい状況にもかかわらず、実質収支が黒字になったのは、適正な運営に取り組んだ結果であると思われるので賛成します。

採決

賛成 10

反対 1

可決

議案
審議

介護保険特別会計決算認定

歳入は前年度より1705万円増の6億5963万円で保険税は1099万円増の1億万円、一般会計からの繰入金は2356万円減の6671万円となりましたが、歳出は1099万円増の1億288万円となり、1647万円が余剰金となりました。保険税の滞納額は262万円となっています。

討論

反対

岡部淳一 議員

介護の状況は、負担は増えるがサービスが削減され安心して暮らせる状況には無いと感じます。負担軽減のためにも町独自の支援が必要と思う観点から本決算に反対します。

賛成

緑川栄一 議員

介護者が年々増える中に、厳しい状況にもかかわらず、実質収支が黒字になっており適正な運営に取り組んだ結果であります。よって本決算に賛成します。

採決

賛成 10

反対 1

可決

(単位)：千円

税金使用料の 滞納額

会計別		収入未済額の内訳	
一般会計	町税		29,599
	保育料		1,613
	住宅使用料		4,946
	負担金・貸付金		586
特別会計	国民健康保険	国民健康保険	54,551
	簡易水道	水道使用料	1,793
	集落排水	集落排水使用料	3,112
	介護保険	介護保険料	2,622
	後期高齢者	保険料	9
合計			98,831



わが町の 一般会計分 貯金と借金

借金の種類			
区分	27年度末残高	昨年度増減	算入率
一般公共事業債	5,050万円	0	50%
公営住宅建設債	4,102万円	△1,508万円	0%
災害復旧事業債	1,435万円	△ 206万円	～95%
義務教育整備債	831万円	△ 744万円	～70%
一般単独事業債	8,464万円	△ 984万円	～50%
過疎対策事業債	22億9,417万円	2億6,399万円	70%
辺地対策事業債	7億402万円	3,478万円	80%
財源対策債	1,035万円	△ 402万円	100%
臨時財政特例債	759万円	△ 408万円	100%
減税補てん債	2,283万円	△ 430万円	100%
臨時税収補てん債	395万円	△ 256万円	100%
臨時財政対策債	15億550万円	△ 542万円	100%
計	47億4,723万円	2億4,395万円	

貯金の種類		
区分	27年度末残高	昨年度増減
財政調整基金	10億3,100万円	△1億3,581万円
減債基金	5億6,252万円	2億5,751万円
文教厚生施設等基金	19億1,372万円	1億2,502万円
ふるさと創生基金	1億138万円	△ 1,977万円
さわやか福祉基金	1億5,425万円	0
計	37億6,287万円	2億2,695万円

運用基金		
区分	27年度末残高	昨年度増減
土地開発基金	1億円	0
優良雌牛導入事業基金	5,500万円	0
奨学基金	6,831万円	40万円
計	2億2,331万円	40万円

10億5400万円減額の 一般会計第3次補正予算

議案
審議

一般会計第3次補正予算

歳入歳出それぞれ10億5489万2千円を減額し、予算総額を50億950万円とする補正予算。前年度からの繰越金6056万円、地方交付税の確定分1億3325万円の歳入、町民第一体育館建設事業の継続費設定に伴う工事請負費等12億1625万円の減額補正のほか、減債基金への積立1億639万円、林業事業体の機械設備導入支援1460万円、畜産農家の機械設備導入支援899万円が計上された予算です。

討論

反対

岡部淳一 議員

町民第一体育館の工事総額に対する問題点は、これまで何度も議論され指摘されております。そういう状況の中において事業を継続費で実施する形がとられました。が、事業費21億8千万円についてはこれまでも同意しておりません。よって補正予算に反対します。

賛成

緑川栄一 議員

補正予算の内容は町民第一体育館建設事業の継続費設定に関する補正や農林業の振興施策にかかる補正が主なものであり、必要な町民の安全安心な暮らしを守るための施策が実施されており、また有利な財源活用によって、将来に備えた基金の積み立ても行われているので賛成します。

反対	賛成
野崎 岡部	藁谷 緑川 鈴木(-) 佐藤(弘) 矢内 鈴木 木戸 関根 佐川

採決

賛成 9

反対 2

可決

その他の議案は

抜粋

辺地総合整備計画の変更

辺地の指定を受け辺地債の対象となる計画の追加を行うもので、竹貫田いわき線の起債額の変更、下論田線の事業量及び事業費の変更及び町消防団第2分団1部の消防機械置場建築事業の追加による費用を計上するものです。

財産の取得について

町消防団用活動服270着を購入するため指名競争入札を実施したものです。

契約金額 642万6千円

契約の相手方

白河市大鳥居橋前83の14

(株) 磐水社 白河営業所

所長 辺見 善衛

常任委員会の活動

総務常任委員会

こども園の周辺環境整備事業及び旧古殿保育所の高齢者居住交流施設への改修事業について視察調査しました。また、防災倉庫の防災用品等の在庫状況についても調査を行いました。

調査後、旧古殿保育所の高齢者居住交流施設への改修内容について担当課より説明を受けるとともに、利用形態、交流施設としての機能充実管理運営などの事項について基本的な方針の確認を行いました。



子ども園の視察調査



旧古殿保育所の視察調査



防災用品の備蓄状況

第2回 臨時会

8.19

平成28年第2回臨時会は、8月19日に開催され、飲料水確保対策事業として飲料水、その他生活に必要な水を確保するための井戸等の施設整備に対する補助金300万円が計上された一般会計補正予算が提案され、原案どおり可決しました。

議案 審議

一般会計第2次補正予算

Q 300万円の予算はどの程度の設備を想定しているのか。

A 5年前に東日本大震災後の水源確保対応と同じく飲料水の確保に必要なポーリング・井戸の掘削費、ポンプの設置費、水質検査などを補助対象経費として考えており、上限額30万円で10世帯を予定しております。

Q 町内で水が枯渇して大変な状況と把握しての対応か。

A 簡易水道エリア外の町民の方から6件程度の問い合わせがありました。
Q この支援の対象期間についてはどのような考えか。

A 今回、補助金交付要綱を制定しており、今年度4月1日に遡って適用

する考えです。補助金の申請は、年度ごとに12月末までとし、3月末までに工事完了するものといえます。

Q 5年前の震災時に水源が枯渇し補助した所も今回、枯渇している場合該当するのか。

A 基本的には5年前に工事を実施して、今回再度枯渇し工事を実施した場合は補助該当といえます。

採決

全員賛成

可決

全員協議会

町民第二体育館改築及び

用地の追加購入について

町民第一体育館改築実施設計が確定したため、平面図、立面図、完成予想図により説明が行われました。また、体育館建設用地周辺の整備予定図により、追加購入予定の4000㎡の取得方法について、現時点で追加の事業認定が困難なため税相当分を考慮した対応での購入をすることについて説明と協議が行われました。



町民第1体育館拡張予定地

町民の声を伝える
町政に生かす
町民の考えをたずねる

一般質問

一般質問は、9月14日に8人の議員が14問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。



野崎 喜彦 議員

町民第一体育館建設の今後は

体育館建設は計画どおり進める

町長

多くの町民から「3月の定例議会で体育館に関する予算が可決されたことは承知しているが、私達に何ら説明もなく入札が執行されるということには甚だ遺憾で、町民を蔑

るにする町民不在の町政だ。もう一度、町長の真意を正してほしい。」という声が多くありました。そこで伺います。
野崎 町民に対しての説明や意見を聞く必要はないか。

という考えに変わりはないか。

町長 各種団体の代表者や議員の皆様にも様々な意見を聞いてきて今があります。

野崎 1800人の署名による陳情書が議会に、「事務監査請求」が177人の署名により提出されているがどう捉えているか。

町長 陳情書は議会に提出したもので、事務監査請求は監査委員に提出されたものではないか。責任の所在は。

町長 現時点で事業認定を受けるのが困難なためやむを得ず地権者が負担する税相当分を考慮し土地購入に至りました。

野崎 4000m²の体育館用地の確保で事業認定が受けられないことから税金分を上乗せして土地を購入することだが町民にどう説明をするのか。

児童・生徒の健康管理と安全対策は

平成29年度体育館完成までご協力を

教育長

古殿小学校は、良好な立地環境に恵まれ「校庭の芝も珍しい」と評判も

良く町のシンボリック存在だ。だが多くの保護者から「芝生の校庭」について

改善の要望がある。公民館主催の「柔道教室」練習場は、以前から「建物危険でかつ不衛生なので代替場所を検討してほしい」との要望が続いている。そこで伺います。

野崎 芝生の校庭は保護者からの要望か。

教育長 開校記念事業としてPTAと学校が協議して進めたものです。

野崎 芝を張った目的は何か。メリットとデメリットは精査したのか。

教育長 目的は情操教育や体力の向上であり、総合的に勘案して進めてまいりました。

野崎 芝生の維持管理費用は。

教育長 平成27年度の実績で管理委託料36万円、肥料代・冬芝代で53万円その他修繕費など合わせて104万円です。

野崎 体育の授業などに支障はないか。

教育長 学校からそのような報告はありません。

野崎 虫刺され・芝アレルギーなどの健康被害はないか。

教育長 虫刺されは、平成27年度に37件ありました。



老朽化した旧宮中校舎

野崎 柔道場の建築年は。耐震補強もなく危険な建物だと思われるが継続使用の問題はないか。代替建物の用意はできないのか。

教育長 昭和37年の建物です。平成29年度に町民第一体育館が完成するので、それまでご協力頂きたいと考えています。

その他の質問

・若者の移住・定住促進対策の現状と進め方は



未指定の駒ヶ城跡地

指定文化財の総数38件
県指定の文化財5件です

町長

町指定有形文化財の状況は



わらがや なおよし
眞谷 直吉 議員

古殿町の観光資源の代表は、越代のサクラと流鏝馬であるが、3日ないし、1週間で終わってしまいます。年間を通じて楽しめる観光化のための整備を図る必要があります。町内には、歴史的な有形文化財が数多くあり文化財を活用した観光資源の開発について、取り組



古殿八幡神社流鏝馬

みの現状と今後の方向性について伺います。

眞谷 町指定有形文化財の状況は。

町長 町指定文化財の総数は38件、県指定の文化財は5件あります。

眞谷 今後、有形文化財を観光化促進する計画はあるか。



未指定の古殿八幡神社狛犬

町長 ふるさとセンターで町の生活文化を紹介しておりまた、観光パンフレットにより有形文化財等を紹介するなどのPRをしてまいりたいと考えております。

眞谷 小学校、中学校の授業に町の郷土史はあるのか。

町長 小学三・四年の社会科の授業で町の歴史や文化財を学んでおり、ふるさとセンターの見学を通して地域への理解を深め、中学校では日本史に町の流鏝馬DVD観賞などを通して郷土への理解を深めています。

第1体育館改築予算が20億2340万円計上されたのに伴い、あまりにも大きな面積で必要性や使用計画はどうなっているのか。1771名の署名が集まり、反対縮小運動が展開されています。

議決はされているにしても、町長は常に町民の視線で町政にあたると思っておりますので、丁寧に説明すべきだと思います。そこで、次の点について伺います。

町長 これまで、町内の各種団体の代表者や体育館を利用する団体の方々から体育館の在り方について、ご意見を頂いてまいりました。また、議員の皆様からも全員協議会を通じて様々な意見を頂いており、これらの積み重ねにより、現在の姿があると考えております。

町長 6月定例会の答弁では、過疎債の額は県と協議中との説明がありましたが、その後どうなったか。

町長 過疎債については県との協議の結果、今年度3億円の内示を頂いており、来年度4億円を借り入れる予定としております。

借り入れは県の指導・助言を踏まえ、適正な財政運営を

起債の借り入れ及び返済状況は



せぎね すみお 議員
関根 角男



債務返済が完了した女性・若者等活動促進施設



用地造成工事が進む町民第1体育館建設用地



さがわ ゆうじ 議員
佐川 勇司

おふくろの駅活性化は

利用状況確認し検討

町長

道の駅は、道路交通の円滑さと安心して自由に立ち寄り出来る快適な休憩施設です。活力ある地域づくりや地域連携の効果が期待され全国に1,003箇所あり、県内には、29箇所あります。わが町のおふくろの駅もその一つであり、機能が有効に展開され、地域の活性につながる事が、望まれます。また、直売所は地域生産者の販売拠点として、大きな役割効果もあり、今後は、さらにその

機能向上も含め、『休憩機能・情報発信機能』を



休憩スペースの設置が望まれるおふくろの駅

佐川 現状の道の駅・直売所・売り場面積に対して利用者からの要望等はあるか。

町長 町に対して直接利用者からの要望等はございません。なお、おふくろの駅定時株主総会で、休憩スペースの設置やトイレの改修について協議が行われております。

佐川 全国道の駅統一マーク付マグネット版があります。町PRの為に企画販売すべきと思っておりますか。



おふくろの駅内売り場

めた整備が求められます。その旨伺います。

佐川 震災から5年以上が経過し、少しずつ回復軌道と思いますが、経営と販売状況はどのようか。

町長 平成27年度の売上は、1億3,467万円あり震災直後に比べ78・1%増加致しました。また、平成22年度との比較では、7・6%の増加となっております。震災前の水準まで戻ってきていると感じております。



おふくろの駅

町長 県内にも同種の商品の販売を行う道の駅があり、当駅が新商品の検討を行うに当たり情報提供してまいります。

佐川 今後の活性化を考慮用地を十分活用し『休憩機能・情報発信機能』の場として、整備が必要と思うが、どうか。

町長 おふくろの駅に確認しながら検討して参りたいと考えております。



さとう ひろぶ 議員
佐藤 弘信

防災無線のデジタル化を急げ

時期を見て改修をします

町長

防災無線は昭和51年1月に運用され、緊急時・災害の発生が予測される場合等、また災害情報の収集・伝達を目的に、人命・財産を守る翼を担ってきました。

しかし機材の老朽化で不具合も生じており、デジタル化の導入が国の方針で決定され、町でもその導入を図るべく計画がなされ設計が完了しており、今後の取り組みを伺います。

佐藤 機材の不具合について



老朽化が進む中継基地

た苦情はあったか。

町長 受信機から音が出ない、雑音が入る不具合の相談がありました。

佐藤 無線システムの老朽化には、具体的にどのような点があるか。

町長 現在、総務省が中心となって防災無線システムのコストダウンに取り組んでいることから、その状況を見きわめながら改修工事の内容及び時期を決定していきます。

佐藤 旧論田小学校の跡地利用の町の考え方、どう

佐藤 跡地利用にあたっては、情報発信が大切であ



利活用が望まれる旧論田小跡地

佐藤 財政支援は以前には、移動系には補助金があり、同報系にはなかったが現在も同じか。

町長 現在も同報系には補助金はありません。

旧論田小学校の利活用を急げ

情報発信しながら利活用に取り組みます

町長

古殿小学校が開校して6年目になりますが、旧小学校の跡地利用も一定の再活用がされており、努力の成果も表れてきております。文科省も廃校の利用促進に力を入れており、全国各地で有効活用の事例が見られます。

町長 このような方向性を希望するのかが。

町長 校舎は耐震基準を満たしており、地元雇用を創出するなど、町民にメリットがあり、地域活性化につながる活用を考えています。

佐藤 これまで跡地利用に関する問い合わせにはどのようなものがあつたか。

町長 太陽光発電事業や飲食料品製造のほか、バイオガス発電とバラ栽培等を体に行う植物工場としての問い合わせがありました。

ります。どのような情報発信をしているか。

町長 町のホームページへの掲載はもとより、県東京事務所などを訪問し情報提供をしております。文科省の「みんなの廃校プロジェクト」や県とも連携を図りながら、情報発信をしていきます。

佐藤 利活用にあたって補助制度からの検討も必要ではないか。

町長 町の企業立地促進条例のほか、国や県の補助金等の支援制度をもとに利活用を推進していきます。



みどりかわ えいいち
緑川 栄一 議員

町民憩いの森公園の整備計画は

追加の整備については難しい

町長

平成17年度に完成した町民憩いの森公園は町を一望できる素晴らしい景観と町の中心部にある利便性もあり、多くの人が利用しているところであり、ます。そこで次の点について伺います。

緑川 平成27年度の推定利用人口は。

町長 町民憩いの森公園使用実績報告書によればその使用人数は1516人です。



町民憩いの森公園芝生広場

緑川 公園を利用したいイベント及び大会等は。

町長 主なイベント及び大会は、老人クラブ連合会、身体障害者福祉会など各種団体によるグラウンドゴルフ大会のほか、こども園の遠足などが挙げられます。また、公園内の里山広場ではバーベキューの設備を備え、各種イベントの交流や反省会に利用されます。



遊具の整備が望まれる広場

緑川 景観を活かして今後の整備計画は。

町長 この公園は国及び県の補助事業により整備されるとともに、一部の山林が環境防災林の指定を受け保安林となっていることから、追加の整備については難しいものと考えております。



町中心部を一望できる展望台



きど ひさやす 議員
木戸 久康

今回のおふくろの駅長
募集の手法は

ホームページを活用した
公募を実施

木戸 町関係の採用募集は広く町民にオープンに知らせる事が最も大切です。今までは職員募集や町関連施設の臨時職員募集はその様な手法をとられていたと思います。この度、おふくろの駅長候補者募集が町のホームページでなされました。今回どの様な理由からホームページのみで公募がなされたのか質問します。

町長 民間企業等で培われた物産販売や経営に関する専門的な知識・経験を備えた人材を全国から広く募集するため、全国道の駅連絡会の公式ホームページとともに町のホームページを活用して公募を行ったところであります。



おふくろの駅

体育館建設に関わる
用地購入の経過は

現時点で追加の事業認定を
受けるのは困難である

急速に少子化、高齢化が進んでいる我が町に果たして22億円以上の税金を投入し、約4000㎡の体育館が本当に必要か否かの議論が長い間なされてきましたが最終段階に入りました。用地購入も進み、本体

工事も10月には入札されるようです。

全員協議会で4000㎡の用地購入に960万円の税金がかかり、町の予算を流用する話がでてきました。びびりしたと同時に、なぜ、その様な事態になったのか質問します。

木戸 体育館建設に関わる用地購入の件は最初から減免も含めてごことこの様に進めてきたのか。なぜ4000㎡の用地購入に税金がかかるようになったのか。

木戸 体育館建設に対して過疎債の見込みはいくらか。

町長 過疎債については、県との協議の結果、今年度3億円の内示を頂いており、来年度は4億円を借り入れる予定としております。



町民第1体育館拡張予定地



おかべ じゅんいち 議員 岡部 淳一

事業と財政運営の在り方は

総合的判断から事業を実施

体育館改築は、町民の声を押し切り次々と変更しながら実施に向けて直線です。町民の目線に立ち身の丈に合ったものならここまで物議を醸すことはなかったでしょう。8月19日、全員協議会で示された説明内容は、これまでの説明を二変する重大な問題がはらんでいます。町財政全般も考えながら次の点を伺います。

町長

岡部 なぜ、4000㎡の土地買収に税金分を上乗せすることになったのか。

町長 買収にあたって現時点で事業認定を受けるのが困難なためです。

岡部 なぜ、予算の流用をしなければならぬのか。

町長 認定を受けるための予算を活用すれば、総予算の範囲内で土地を取得出来る見通しがたったのでやむを得ず地権者が負

担する税金分を考慮し、土地購入に至りました。

岡部 法的なもの以外これまでも町が税金分を上乗せしていたのか。

町長 条件により税負担分を考慮して買収した事例もあります。

岡部 空調室外機設置は特別な設計内容なのか。

町長 特別なものではありません。

岡部 入札前にすべき工事をどう進めるのか。

町長 現在、水田の不用土をはぎ、盛土をしています。

岡部 主要事業の大原小学校橋拡幅は、なぜ凍結されたのか。

町長 昨年度、県との河川協議が終了し、大幅な工事費増となるため凍結することになりました。

岡部 町の補助・助成事業は予算を組まずに対応することはあるのか。

町長 予算措置が無い執行はないが、予算の流用や予備費充当の手法はあります。

介護保険総合事業内容と町の取組み、今後の方向性は

関係機関と協議を進め方向性を決定します

町長

国の方針により介護事業が新総合事業内容に移行する方向が示されました。制度改正による影響と対応策また、伴うもの

としての施設整備などについて伺います。

岡部 総合事業は、これまでの事業方針と何が違うのか。

町長 新事業は、住民・NPO・ボランティア等が参画し、地域で支え合う体制を構築し効率的な支援を目指します。

岡部 具体的に変わった事はなにか。

町長 二つ目として、これまで全国一律に行っていた訪問及び通所介護を住民・NPO・ボランティアによるサービス事業とします。二つ目として、特定のサービスだけの場合は要介護認定を省略し「基本チェックリスト」確認によるサービスとなりました。

岡部 今後の町介護事業としての新しい内容は定まったのか。

町長 次年度度度に向けて事業の内容、生活支援体制認知症施策の協議を進めています。

岡部 社会福祉協議会など関係団体との協議はどう経過しているのか。

町長 県中福祉事務所や関係機関及び地域包括支援センターを運営する社会福祉協議会や町健康管理センターと協議を進め

ています。

岡部 過疎計画では29・30年度に施設整備が提案されているが、この実施手順で間違いないか。

町長 石川消防署古殿分署解体工事が30年度までかかる見込みとなり施設整備は早くとも31年度以降となります。



コスモス荘

その他の質問

・子どもの貧困と就学援助制度の現状

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ 旧保育所跡地活用は？

Q 平成26年3月一般質問から
保育所跡地利用として冬期間対応優先の
高齢者集合住宅はどうか。

A 町長答弁
保育所の今後の利活用については、ご指摘の内容
も参考にしながら、検討します。

その後の
対 応

冬期間の生活困難者に対する高齢者集合住宅は平成28年度中に実施設計等を行い、平成29年度に改修工事を進める予定です。なお、平成30年度開所を目指します。



高齢者集合住宅予定の旧古殿保育所跡地

みんなのページ

No.28

今回紹介するのは、「**論田のごんげん祭り**」です。

*いつ頃からはじまったのか。

200年前からごんげん山に湯殿山神社を建立し祭りが行われてきました。

当番の家では昼は、ささら（獅子舞）、笠踊り、赤城山の国定忠治、番場の忠太郎などの地芝居、夜はやぐらを囲んで盆踊りなどで賑やかでした。

一時、子どもの減少や映画やテレビなどの普及により祭りは消滅しましたが、昭和47年頃、有志者などが中心となり、笠踊りや地芝居を催す「ごんげん祭り」として復活しました。



新しい萱草で編んだ「ツトッコ」

*受け継がれている慣習は

新しい萱草で編んだ苞（つと）に赤飯を入れた「ツトッコ」を神前にお供えします。

氏子は、2本作り祭りに持参し、1本は持ち帰り、残りは祭りに来て頂いた方々に振る舞われます。

*今年の催しは

10月2日(日)に「論田ふれあいセンター」で祭りが開催されました。平田村出身の歌手2人が熱唱ひょっとこ踊り、小学生による「獅子舞」やフラダンスが披露され楽しい祭りでした。



ごんげん祭りの風景

“**町政を知るよい機会**”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

12月 上旬

古殿町のホームページからもご覧いただけます。

古殿町 検索 → 町議会へ

ふるどの議会だより 第137号
平成28年10月20日発行

18